

授業科目名・形態	精神科リハビリテーション学Ⅰ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	田中 誠	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

この講義では精神科リハビリテーションの理念や基本原理の理解を基盤として、具体的援助におけるプロセス、技法を学んでいく。また多職種等との連携、社会資源の活用等の視野も広げていく。またこれまでの豊富な実践例をテキストの内容に当てはめ、理論の解説を講義の内容としたい。さらには国家試験を視野に入れた講義も試みたい。

【到達目標】

- 1) 精神科リハビリテーションの理念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。
- 2) 精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用法について理解する。
- 3) 地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション（講義の内容、進め方、評価方法）
- 第2回 精神科リハビリテーションの概念
- 第3回 精神科リハビリテーションの概念
- 第4回 精神科リハビリテーションの基本原則
- 第5回 精神科リハビリテーションの意義
- 第6回 精神科リハビリテーションの構成
- 第7回 精神科リハビリテーションの構成
- 第8回 地域に根ざしたリハビリテーション
- 第9回 精神科リハビリテーションのプロセス
- 第10回 精神科リハビリテーションのプロセス
- 第11回 精神科リハビリテーションのプロセス
- 第12回 精神科作業療法とレクリエーション
- 第13回 集団精神療法
- 第14回 SST（生活技能訓練）
- 第15回 精神科デイケア・ナイトケア

【授業実施方法】 講義形式

【授業準備】 事前に教科書を読んでおくこと

【主な関連する科目】 精神障害者の生活支援システム

【教科書等】 「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ」「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ」
弘文堂

【参考文献】 随時、講義の中で紹介する。

【成績評価方法】 レポート80%、授業態度20%により総合的に判断する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療ソーシャルワーカーとしての経験を活かし精神保健福祉士のリハビリテーションについて教授する。

【学生へのメッセージ】

本講義は精神保健福祉専門職の視座、技術、行動規範を学習し、今後の講義や演習の基礎となる講義である。精神保健福祉士を目指す学生は積極的かつ情熱的に知識の習得を目指してほしい。